

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年3月22日 (2018.3.22)

【公開番号】特開2017-220910(P2017-220910A)

【公開日】平成29年12月14日 (2017.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-048

【出願番号】特願2016-116558(P2016-116558)

【国際特許分類】

H 0 3 H 9/17 (2006.01)

H 0 3 H 9/68 (2006.01)

【F I】

H 0 3 H 9/17 F

H 0 3 H 9/68

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月7日 (2018.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

圧電薄膜共振器に大きな電力が入力すると、圧電膜の c 軸方向に依存した非線形性に起因し、出力信号に 2 次高調波が発生する。そこで、圧電膜の 2 次高調波を抑制するように圧電薄膜共振器を分割することが知られている（例えば特許文献 1、2）。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

出力端子 T o u t から出力される 2 次高調波の大半は、直列共振器 S 1 から S 4 のうち出力端子 T o u t に最も近い直列共振器 S 4 および / または並列共振器 P 1 から P 3 のうち出力端子 T o u t に最も近い並列共振器 P 3 から放出された 2 次高調波である。これは、入力端子 T i n 側の共振器から放出された 2 次高調波は出力端子 T o u t 側の共振器を通過する過程で減衰するためである。そこで、フィルタ A から C では、出力端子 T o u t に最も近い直列共振器 S 4 および / または並列共振器 P 3 に共振回路 2 2 を設けている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

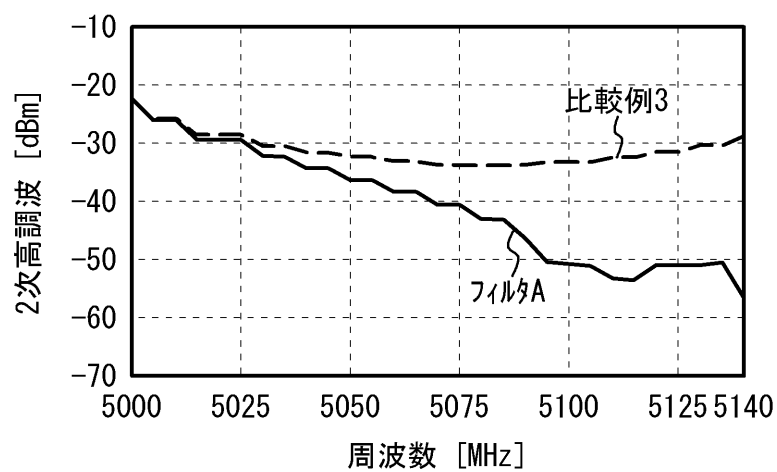
【補正対象項目名】図 1 5

【補正方法】変更

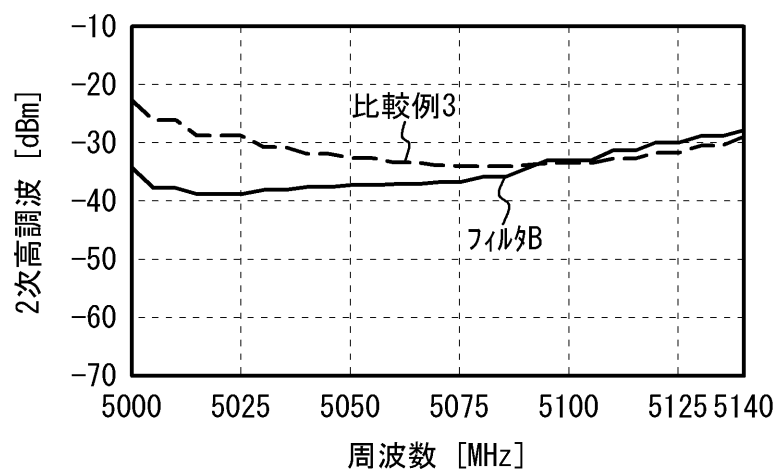
【補正の内容】

【 図 1 5 】

(a)



(b)



(c)

